




Keio University  **Isagai Lab.**


第1回MBAカフェ
MBAは地域の役に立つか？
 — 社会起業家の台頭とMBAへの期待 —

2012年6月15日


慶應義塾大学総合政策学部准教授
 飯盛義徳、MBA、Ph.D.

isagai@sfc.keio.ac.jp
 http://isagai.sfc.keio.ac.jp

KEIO 150  

 **Isagai Lab.**


自己紹介



 **Isagai Lab.**

自己紹介



 **Isagai Lab.**


自己紹介


■ 飯盛義徳(いさがいよしのり)、博士(経営学)


- 慶應義塾大学総合政策学部 准教授 兼 政策・メディア研究科委員
- 東京大学大学院、佐賀大学、東北公益文科大学大学院などの非常勤講師
- 総務省過疎問題懇談会委員、総務省人材力活性化研究会座長、総務省地域づくり懇談会委員、国土交通省奄美群島振興開発審議会委員、元・長崎県総合計画懇談会委員、ファミリービジネス学会常任理事など
- NPO法人風籬塾 副理事長(ファウンダー)

■ 略歴

- 1964年 佐賀市生まれ
- 1983年 長崎私立青雲高等学校卒業
- 1987年 上智大学文学部卒業(体育会陸上競技部副将、体育会本部情宣部長)
- 1987年 松下電器産業(株)入社。富士通(株) 出向などを経て、国際商事本部にて海外ITベンチャー企業のシステム輸入開発事業に従事
- 1992年 慶應義塾大学大学院経営管理研究科修士課程入学
- 1994年 同校修了後、飯盛教材株式会社入社
- 1997年 常務取締役就任
- 1999年 佐賀大学理工学部寄附講座客員助教授
- 1999年 アントレプレナー育成スクール「風籬塾」設立
- 2001年 (有)EtherGuy設立、代表取締役
- 2002年 慶應義塾大学大学院経営管理研究科博士課程入学
- 2005年 同校修了後、慶應義塾大学環境情報学部専任講師就任
- 2008年 慶應義塾大学総合政策学部准教授就任







 **Isagai Lab.**

担当授業

- 新事業創造ワークショップ(GC科目)
- 地域情報化論(大学院)(e科目)
- まちづくり論(GC科目)
- 地域協働とフィールドワーク(寄附講座)
- アントレプレナー概論(寄附講座)
- ファミリービジネス論(大学院)(e科目)
- 研究会A
- 卒業プロジェクト
- 大学院プロジェクト
- 博士特別研究




 **Isagai Lab.**

飯盛義徳研究会の活動

地域の元気の処方箋を探究

地域情報化 伝統産業 農業・食料 商店街 ファミリービジネス ...

経営学+ひとづくりの視点



研究会の活動の様子

Yoshinori Isagai

推進している研究プロジェクト(一部)

- 高校生のアントルプレナー育成 (VITA+)
 - 佐賀、高知、和歌山、藤沢などでの実践
- ファミリービジネス
 - 本坊酒造、タキヒヨー、にんべん、法師などの事例研究
 - 福井などでの人材育成講座
- 地域再生
 - 高知県、福岡県、長崎県などの活性化
- 地域活性化と人材育成
 - 地域資源をテーマとしたケース教材開発、人材育成講座
- 鳳雛塾
 - 佐賀、横浜などでの実践、運営支援
- インターネット市民塾
 - SFC市民塾のコンテンツ開発、学びの共同体形成

Yoshinori Isagai

プロジェクト活動の様子

Yoshinori Isagai

取り組んでいる研究

- テーマ
 - 地域のつながり形成、地域資源の展開メカニズム
 - ファミリービジネスにおけるイノベーション過程
 - 社会科学におけるアクションリサーチの方法論
- 論文、書籍(地域づくり関係のみ)
 - 『元気村はこう創る』日本経済新聞社、2007年。
 - 「情報技術で地域を拓く」『日経ネット時評』2008年12月。
 - 「ひとづくりとまちづくり」『三田評論』2009年3月号。
 - 「地域再生とひとづくり」三菱UFJリサーチ&コンサルティング『季刊 政策・経営研究』2009 No.2、2009年5月。
 - 『ケース・ブックIV 社会イノベーター』慶應義塾大学出版会、2009年。
 - 『小学生のためのキャリア教育実践マニュアル』慶應義塾大学出版会、2011年。

Yoshinori Isagai

出版させていただいた本など

Yoshinori Isagai

主な研究テーマ

- 地域のつながり形成、地域資源の展開メカニズム
- ファミリービジネスにおけるイノベーション過程
- 社会科学におけるアクションリサーチの方法論

Yoshinori Isagai

私の実践

概要


- 設立：1999年（2005年7月NP0化）
 - 理事長：指山弘養（佐賀銀行会長）
 - ・ 2011年度から富崎龍夫（佐賀銀行常務取締役）
 - 副理事長：飯盛義徳（ファウンダー）
 - 事務局長：横尾敏史（佐賀銀行）
- ミッション：鳳雛（未来の英雄）を育む
- 塾生：約400名（2011年3月まで）
- 運営
 - スタッフ：専任講師2名、助手1名、事務局1名
 - 年間運営予算：約30万円
 - ・ 2005年度から2007年度までは、経済産業省より1200万円の助成
 - 年間約16回（月に2回）の授業
 - 年間受講料：社会人1万円、学生5千円

特徴

- ケースメソッドの導入
 - ケース教材の独自開発
- オープンポリシー
 - 多彩な方々が机を並べて議論
 - ・ 若手企業家だけでなく、行政、教員、議員、マスコミ、高校生も参加
 - ・ 毎回OBや塾生の知り合いが参加
 - 授業後は必ず交流会（佐賀銀行社員食堂など）
- 情報技術の積極的利用
 - ネットで連絡、課題、議論、教材提供
 - ・ 授業の映像（一部）も公開
 - 遠隔授業の実践（2002年度から月に1回）
 - ・ IPv6、JGNを活用した遠隔授業など

ケース教材の自作

- 地元企業事例を中心とした教材を10部開発
 - 希少な地方企業、創業事例
 - 4部は映像付デジタル教材として公開



授業の様子



成果

- ベンチャー、NPO起業など
 - 佐賀県産業ビジネス大賞受賞
 - 中小企業創造活動促進法認定
 - NPO起業
 - 衆議院議員当選（現・参議院議員）
- 情報技術（Gigaビットネットワーク、IPv6など）研究
- 新事業、他地域への広がり
 - 小学生から高校生向けのアントルプレナー教育（キャリア教育事業）など
 - 富山、藤沢、石川、丹波、横浜、埼玉などに伝播
 - 大学教育への広がり

★2003年度日経地域情報化大賞日本経済新聞社賞受賞
★2010年度地域づくり総務大臣表彰受賞

キャリア教育事業




Yoshinori Isagai

鳳雛塾の方向性

学校	教育目標	実施プログラム	目的	主な能力
小学校	ケーススタディ	職業体験 仕入から販売まで全て自分たちで企画する	計7つの販売の仕組み、実体験として実際に触れる	自主性・探究性 職業観・労働観 実践的能力
中学校	目的：ケースを長等と長等体験しながら	インターンシップ 5日間	職業体験による実社会の経験及び交流を促す	職業観・労働観 実践的能力
高校	意思決定能力 問題発見・解決能力	普通科 企業への派遣・選考活動 職業科 就職体験	ジャンプ 様々なビジネス活動体験により高度な職業能力を養う	分析力・企画力・創造力、交渉力、プレゼン能力、リーダーシップのトレーニング能力

等々等 → MOT 経営学 ネットワーク → 鳳雛塾 → ビジネス感覚を養った新社会人 就職力となる新社会人 等 → 企業が求める人材

Yoshinori Isagai

各地への広がり

- 富山と越肥同盟締結(2004年8月)
 - インターネット市民塾のノウハウ共有
 - 富山鳳雛塾設立(鳳雛塾のノウハウ共有)
 - 富山の企業のケース教材開発、共有
- 藤沢鳳雛塾の設立(2005年度)
- 東峰村鳳雛塾の設立(2006年度)
- 丹波鳳雛塾、横浜鳳雛塾の設立(2008年度)
- 埼玉鳳雛塾の設立(2009年度)

各地域との教材共有や遠隔授業など資源共有の推進

Yoshinori Isagai

越肥同盟の締結




Yoshinori Isagai

藤沢、横浜、埼玉鳳雛塾など






Yoshinori Isagai

大学のプロジェクトへの広がり

- 高校生のためのアントルプレナーシップ育成プロジェクトVITA+設立(佐賀、高知、和歌山)




Yoshinori Isagai



社会起業家の台頭

Yoshinori Isagai

新しい公共とは

人々の支え合いと活気のある社会。それをつくることに向けたさまざまな当事者の自発的な協働の場

↓

ソーシャルキャピタルの高い、つまり、相互信頼が高く社会コストが低い、住民の幸せ度が高いコミュニティが形成。さらに、つながりの中で新しい発想による社会のイノベーションが起こり、「新しい成長」が可能

「公共」=「官」だけではない

(出所)内閣府「第8回「新しい公共」円卓会議資料」平成22年6月4日。

Yoshinori Isagai

上勝町の概況

- 人口
 - 約2100人
- 総面積
 - 109.68km² (山林が85.1%)
- 高齢化率
 - 47%
- 主要産業
 - 林業、農業(農家は251世帯で全世帯の55%)

<http://www.irodori.co.jp/>

Yoshinori Isagai

いそどり事業の概要

- 事業内容
 - 彩(いろどり)ブランド:料理に添える葉類(紅葉、柿、南天など)や花類(梅、桜、桃など)
 - 翠(みどり)ブランド:笹葉の器、箸置きなど
 - 幸(さち)ブランド:ゆきのしたや葉わさびなど
 - Lovelyブランド:プリムラや金魚草などの食用花
- 売上高
 - 226,255,000円(上位30名で売上の約7割)
- 生産者
 - 半数が60歳以上の女性
 - 月に100万円を稼ぐ高齢者も誕生

Yoshinori Isagai

株式会社いそどりの概要

- 生産者といそどりに雇用契約は無し
- 生産者は、「彩部会」に登録し、専用パソコンの貸与を受けてサービスを受給(部会員190名)
- 収益源
 - パソコンリース料
 - 農産物の出荷額に応じた課金手数料(約15%)
 - 見学費用
 - 講演料
- 売上げ総利益
 - 27,164,263円

Yoshinori Isagai

商品の概要





南天 (ジャンボ)



いがぐり



すすき穂



南天菜



松葉




赤もみじ


(出所) いろどりのWebサイト<<http://www.irodori.co.jp/>>.

Yoshinori Isagai

横石知二氏の素顔




- 出身
 - 徳島市
- 職業
 - JA(1979年)→上勝町(1996年)
- いろどり設立とその後
 - 上勝町退職→いろどり専務取締役(2002年)→代表取締役副社長(2005年)




著者 横石知二氏が語る
「そうだ、葉っぱを売ろう!」
過疎の町 どん底からの再生
ソフトバンクエスティング社 村上龍

(出所) youtube Yoshinori Isagai

競合の状況



- 愛知県つまもの振興協議会
 - 6つのJAによって構成(1962年よりスタート)
 - 大葉、菊花など200種類
 - 年生産量は約180億円(うち大葉が約120億円)



(出所) 豊橋温室園芸農業協同組合のサイト<<http://www.toyo-on.or.jp/>>.

Yoshinori Isagai

いろどり参加の理由




No	理由	回答者数	比率
1	地域のためになるから	1	1.6%
2	人に頼まれたから	0	0.0%
3	体を動かすのは健康によさそうだから	26	40.6%
4	集荷場などで皆との話を楽しみたいから	6	9.4%
5	周りの皆もやっているから	4	6.3%
6	結果が数字になるのが楽しいから	9	14.1%
7	現金収入が得られるから	44	68.8%
8	いきがいを求めて	24	37.5%
9	その他	3	4.7%
回答者数		64	100.0%
無回答		13	


(出所) 財団法人電源地域振興センター「マーケティング調査報告書」(平成18年)、p.18.

Yoshinori Isagai

彩ネットワークシステムの概要




- 生産者はパック詰めしたつまモノを10個単位でケースに入れ、集荷場へ
- バーコードで、生産者番号、商品番号を読み取り、彩ネットワークで管理
- 競りが終わると入札価格がシステムのデータベースに入り、全商品情報、売上げが一覧
- 自宅には、専用パソコンとFAXがあり、市場動向、商品価格、つまもの価格が時系列に確認




Yoshinori Isagai


生産者の競争




- 個人事業主として自分の売上を増やすべく努力
- 少品種大量も、多品種少量もリスクが大
- 季節性、需要変動も大きく、値崩れの危険性



彩ネットワークシステムの情報で、何を、いつ、どれくらい出荷するかを判断



その結果は売上としてすぐに判明



Yoshinori Isagai

Isogai Lab.

地域づくりのマネジメント

Yoshinori Isagai

Isogai Lab.

すぐれたビジョンの特徴

- 眼に見えやすい
- 実現が待望される
- 実現可能である
- 方向を示す
- 柔軟である
- コミュニケートしやすい

(出所) Kotter, John P. *Leading Change*, Harvard Business School Press, 1996(梅津祐良訳『企業変革力』日経BP, 2002).

Yoshinori Isagai

Isogai Lab.

短期的成果の意義

- 自己犠牲が価値を生むという証拠を示す
- 変革推進者の功績を称え報いを与える
- ビジョンと戦略を微調整する機会を生む
- 批判勢力や自己本位の変革反対者の勢いを削ぐ
- 経営幹部たちを味方につける
- 変革の勢いを維持する

(出所) Kotter, John P. *Leading Change*, Harvard Business School Press, 1996(梅津祐良訳『企業変革力』日経BP, 2002).

Yoshinori Isagai

Isogai Lab.

資源ベースの経営戦略(RBV)

- 経済的価値を創造できるか? Valuable
- 希少性はあるか? Rare
- 模倣困難か? Inimitable
- 価値を創造する組織があるか? Organization

↓

競争優位を構築

(出所) Barney, Jay B., *Gaining and Sustaining Competitive Advantage*, Prentice Hall, 2001を参考。

Yoshinori Isagai

Isogai Lab.

地域の多様性、多義性

- 多義性、多重性
 - 境界のあいまいさ
- 多様性
 - 多種多様な主体
 - 方向性、意識など

→ 資源となるべきものなど認識も多様

(参考) 森岡清志(2008)『地域の社会学』有斐閣。

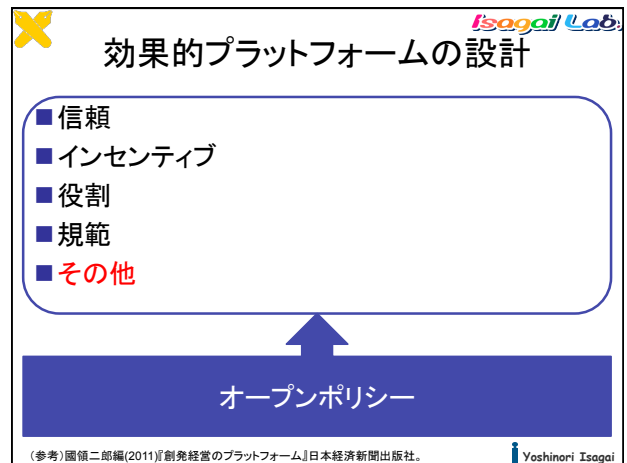
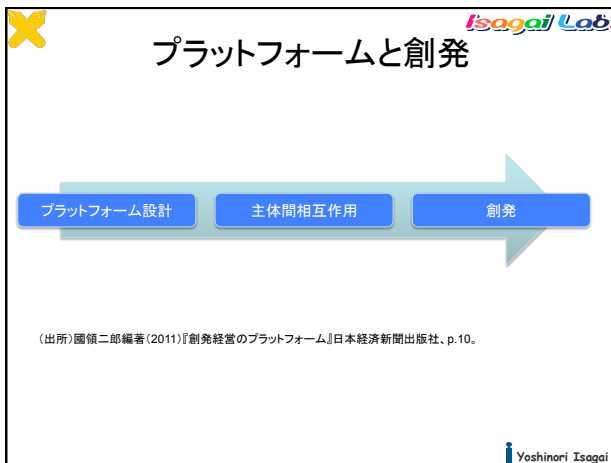
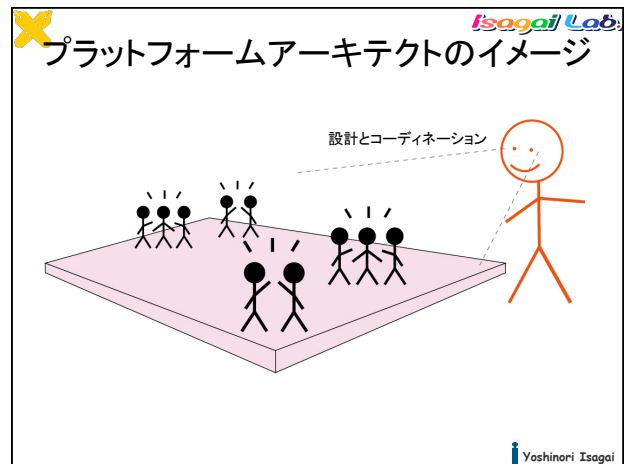
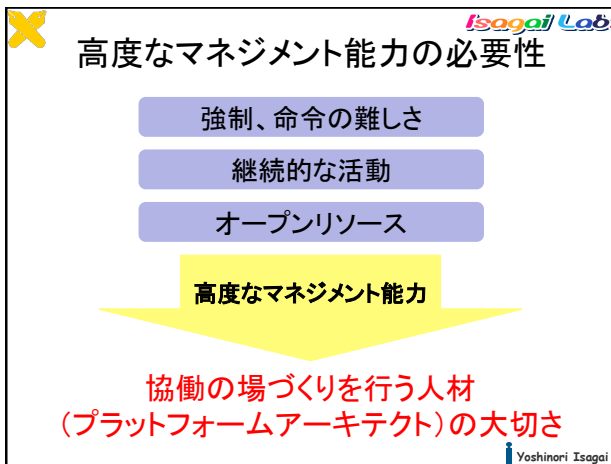
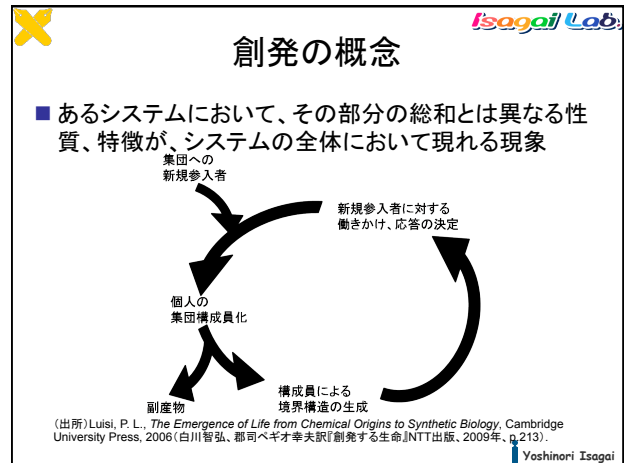
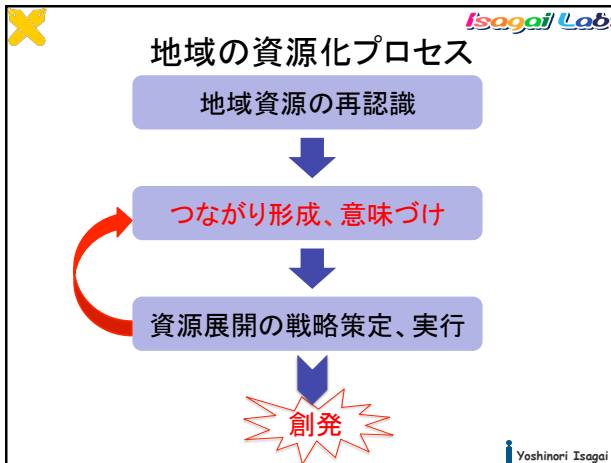
Yoshinori Isagai

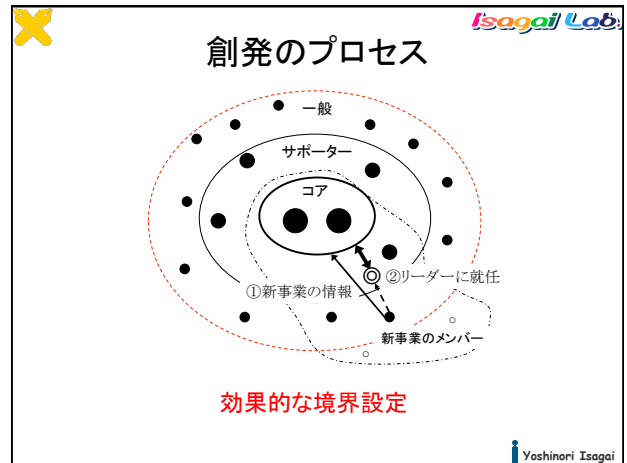
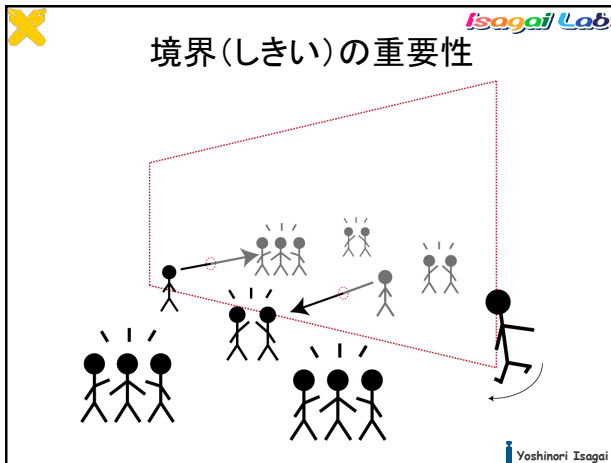
Isogai Lab.

地域資源

- ヒト
 - 住民、自治体、企業、NPOなどの主体
- モノ(見えるもの)
 - 自然環境、史跡、農水産物など
- カネ
 - 予算など
- 情報(見えないもの)
 - 歴史、文化など

Yoshinori Isagai





- ### コーディネータの役割
- 重要な問題の特定
 - コミュニティのイベントの企画・推進
 - 非公式な人的ネットワークの構築
 - メンバーの知的成長の支援
 - 上部組織との境界の管理
 - 実践の支援
 - メンバーへの貢献の評価
- ・互酬性の規範の定着
(例えば教えあいなど)

 - 信頼形成
 - 資源共有
- (出所) Wenger, Etienne, McDermott, R. and Snyder, S., *Cultivating Communities of Practice*, Harvard Business School Press, 2002(野村恭彦監修『コミュニティ・オブ・プラクティス—ナレッジ社会の新たな知識形態の実践』翔泳社, 2002)..
- Yoshinori Isagai

資源共有のマネジメント

資源のオープン化、共有 → 信頼

互酬などの社会的交換は信頼を形成する

(出所)Blau, Peter, *Exchange and Power in Social Life*, John Wiley & Sons, 1964.
飯盛義徳「地域情報化プロジェクトにおける事業創造のマネジメント」情報社会学会
『情報社会学会誌』Vol.2, No.2, 2007年6月。

Yoshinori Isagai

皆さまに期待する！

Yoshinori Isagai

MBAは地域に役立つ！

高度なマネジメント能力、行動力

地域資源の展開

人材育成(鳳雛塾など)

Yoshinori Isagai

地域とビジネス

地域活性化

MBA

ビジネス活性化

Yoshinori Isagai

地域イノベーションと大学の役割

企業

行政

大学

地域イノベーションのプラットフォーム

Yoshinori Isagai

地域に果たす大学の役割

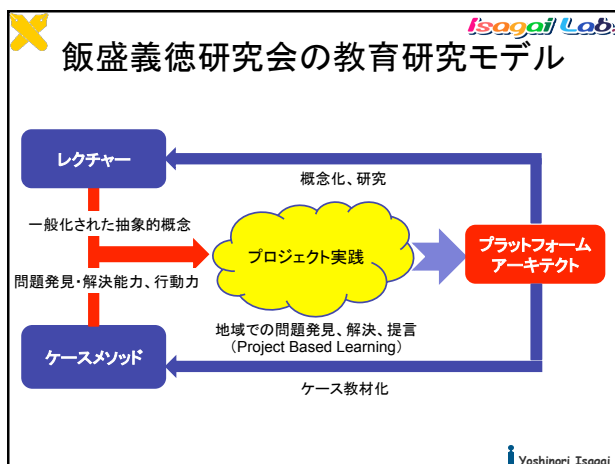
- 人材(プラットフォームアーキテクト)育成の府
- 新しい情報、知、技術の流入(よそ者の視点)
- 失敗を恐れない行動力のある若者の拠点

+

地域の資源

地域再生

Yoshinori Isagai



地域活性化の有名事例

徳島県上勝町 石川県羽咋市神子原地区 島根県海士町

(出所) Amazon <<http://www.amazon.co.jp/>>

Isogai Lab.

Yoshinori Isagai

お知らせ

7月19日(木) 16:00~18:00
プラットフォームデザイン・ラボ定例研究会
三田キャンパス東館6階 G-sec Lab.

11月22日(木)~23日(金)
ORF (Open Research Forum)
東京ミッドタウン

Isogai Lab.

Yoshinori Isagai

